

# おかげさまで100周年 感謝

弊社は1919年（大正8年）、伊勢伊喜松が創業し、日本で初めて便器用フラッシュバルブの試作に成功、併せて複式ボールタップを完成させ、水道業界に普及させました。又、フラッシュバルブの構造を応用したF号ボールタップ（定水位弁）を考案、昭和17年に実用新案を取得し、広く社会に貢献して参りました。

## 創業 1919



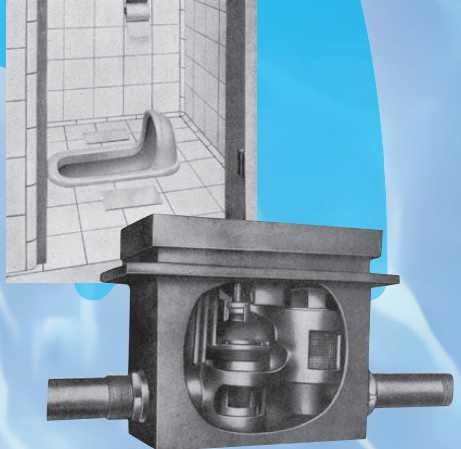
創業者  
伊勢伊喜松

伊勢伊喜松が日本において初めてフラッシュバルブの試作に成功し併せて単式ボールタップの製造を開始し、新たに伊勢式（複式）ボールタップを完成させて水道業界に普及させた。

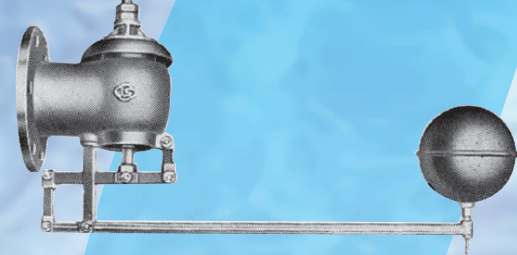


伊勢式水洗弁最近納入先一例

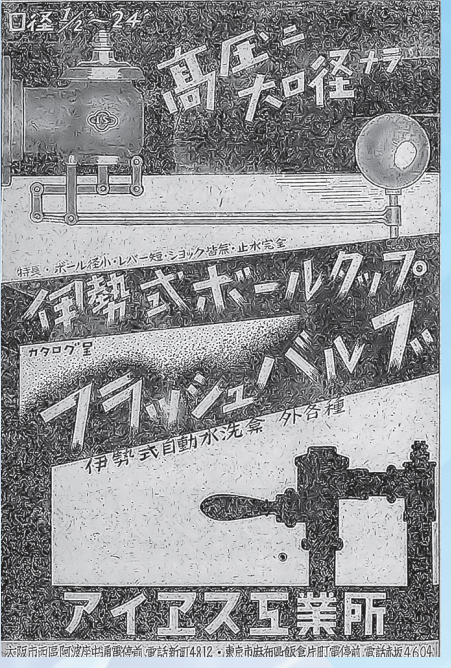
都府県	納入先
東京	皇立第一小学校、大塚市立第一小学校、荒川区立第一小学校、目黒区立第一小学校、品川区立第一小学校、東大塚小学校、目黒区立第一中学校、品川区立第一中学校、品川区立第二中学校、品川区立第三中学校、品川区立第四中学校、品川区立第五中学校、品川区立第六中学校、品川区立第七中学校、品川区立第八中学校、品川区立第九中学校、品川区立第十中学校、品川区立第十一中学校、品川区立第十二中学校、品川区立第十三中学校、品川区立第十四中学校、品川区立第十五中学校、品川区立第十六中学校、品川区立第十七中学校、品川区立第十八中学校、品川区立第十九中学校、品川区立第二十中学校、品川区立第二十一中学校、品川区立第二十二中学校、品川区立第二十三中学校、品川区立第二十四中学校、品川区立第二十五中学校、品川区立第二十六中学校、品川区立第二十七中学校、品川区立第二十八中学校、品川区立第二十九中学校、品川区立第三十中学校、品川区立第三十一中学校、品川区立第三十二中学校、品川区立第三十三中学校、品川区立第三十四中学校、品川区立第三十五中学校、品川区立第三十六中学校、品川区立第三十七中学校、品川区立第三十八中学校、品川区立第三十九中学校、品川区立第四十中学校、品川区立第四十一中学校、品川区立第四十二中学校、品川区立第四十三中学校、品川区立第四十四中学校、品川区立第四十五中学校、品川区立第四十六中学校、品川区立第四十七中学校、品川区立第四十八中学校、品川区立第四十九中学校、品川区立第五十中学校、品川区立第五十一中学校、品川区立第五十二中学校、品川区立第五十三中学校、品川区立第五十四中学校、品川区立第五十五中学校、品川区立第五十六中学校、品川区立第五十七中学校、品川区立第五十八中学校、品川区立第五十九中学校、品川区立第六十中学校、品川区立第六十一中学校、品川区立第六十二中学校、品川区立第六十三中学校、品川区立第六十四中学校、品川区立第六十五中学校、品川区立第六十六中学校、品川区立第六十七中学校、品川区立第六十八中学校、品川区立第六十九中学校、品川区立第七十中学校、品川区立第七十一中学校、品川区立第七十二中学校、品川区立第七十三中学校、品川区立第七十四中学校、品川区立第七十五中学校、品川区立第七十六中学校、品川区立第七十七中学校、品川区立第七十八中学校、品川区立第七十九中学校、品川区立第八十中学校、品川区立第八十一中学校、品川区立第八十二中学校、品川区立第八十三中学校、品川区立第八十四中学校、品川区立第八十五中学校、品川区立第八十六中学校、品川区立第八十七中学校、品川区立第八十八中学校、品川区立第八十九中学校、品川区立第九十中学校、品川区立第九十一中学校、品川区立第九十二中学校、品川区立第九十三中学校、品川区立第九十四中学校、品川区立第九十五中学校、品川区立第九十六中学校、品川区立第九十七中学校、品川区立第九十八中学校、品川区立第九十九中学校、品川区立第一百中学校



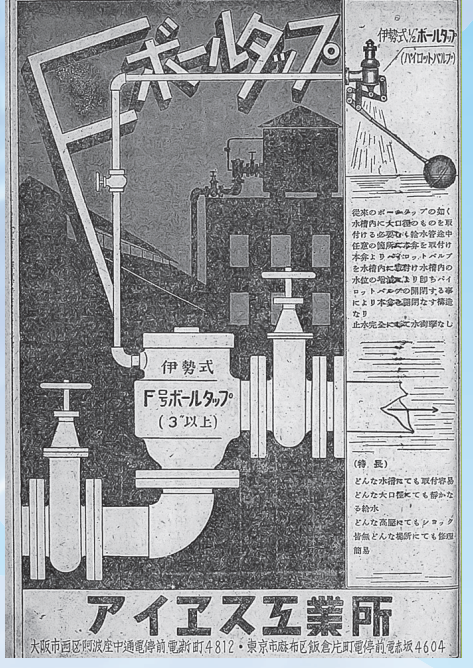
法人組織に改め「株式会社アイエス工業所」大阪市浪速区河原町に設立し、主として各種ボールタップの製造販売を行なうと共に給排水衛生設備工事を設け水道工事業界にも進出する。



工場及び営業所が戦災で焼失したので終戦後、大阪市城東区嶋野東3丁目5番13号において同事業を継続する。



衛生工業協会誌第17号1943年(昭和18年)1月  
複式ボールタップとフラッシュバルブの広告



衛生工業協会誌 第17号1943年(昭和18年)2月  
F号ボールタップ(日本初の定水位弁)の広告



2019年6月 一般社団法人 建築設備技術者協会により  
建築設備技術遺産 第34号の認定を受ける

大正8年から現在まで、長年に渡り弊社をご支援いただいた皆様に厚く感謝申し上げます。  
私たちは、次の100年も技術を研鑽し、創意工夫を重ねて、社会への貢献を果たして参ります。  
皆様、今後とも弊社をよろしくお願い致します。